

惜別の辞

経済学会会長・経済学部長 石 田 晃

平成14年3月、野崎文男教授が定年を迎えられ本学を退職されました。本学経済学会は野崎教授の教育および研究上の功績を顕彰するために〔敬愛大学・研究論集〕第62号を退職記念号として刊行することにいたしました。また、野崎教授の功績に対しまして深く感謝すると共に、ここに惜別の辞を述べます。

年譜をみますと、野崎教授は、東京工業大学化学工学課程、同大学大学院理工学研究科化学工学専攻（修士課程及び博士課程）を卒業され、昭和35年に工学博士号を修得されています。卒業後2年間アメリカ合衆国プリンストン大学で学ばれた後、千葉大学工学部助教授、教授に就任されて、教鞭と研究に当たられてきました。平成9年に千葉大学を定年退職され、千葉大学名誉教授を授与されると共に、敬愛大学経済学部教授に就任されました。敬愛大学との関係はその前昭和54年に遡り、非常勤講師として化学を担当してきました。この間昭和60年初めの3年半ほど専任として友成教授が化学担当として就任されていた間を除いて丁度20年間敬愛大学で教えてきました。特に教授に就任されてからは総合科目（水の科学）、環境化学と環境保全化学を担当してきました。

野崎教授の研究業績は、一覧表で見られるように大変な数で、一つ一つ数えることが出来ないほどだと思われるし、化学分野、特に触媒を中心とする応用化学、環境化学関係の分野がご専門だ

ったかと門外漢ながら察せられる。最近の論文では英文の論文が特に多くなっているのも特徴の一つに挙げられよう。

先生は、学問一筋に誠実な研究と教育指導の生活を送ってきましたが、趣味として近年特に余暇の時間を割いておられたのは、先生のご専門と多少は関係のある植物の観察と手入れ、特に庭木の手入れは専門家の域に達しておられるとのことでした。また、先生は無類の愛煙家で、これまで何度か禁煙をトライされたようですが、この3月敬愛大学を退職されたのを機として、禁煙して今日に至っています。禁煙の実行をお喜び申し上げますと共に、先生の克己心の強さに敬意を表したいと思います。なお、先生には引き続き非常勤講師として本学のためにご活躍頂くことになっており、どうかこれからもお元気で我々後進を指導して頂きたいと願います。